



水先案内

水のこと

もっと知りたい

目次

水と仕事シリーズ「すいかづくり」

水道局からのお知らせ

あの時を忘れない～災害対策～

- その時に備える
- 飲料水の確保

新潟市の水道水は安全・安心

- 水質検査結果のお知らせ

貯水槽水道の衛生管理

安全でおいしい水の直送便～直結増圧給水～

口座振替のお申込みを推進中です！

水道局へのお問い合わせやお届けはフリーダイヤルで



水と共に生きる。
水と仕事シリーズ 第六回 「すいかづくり」

「みずみずしい」という表現は、すいかの養
め言葉にはならないようだ。作り手にはどうも、
「水っぽくて味がないように聞こえる」らしい。
ぎゅっと実がつまり、糖度も高く芳（かんば）
しいすいかは、では、なんと褒めようか。

すいかの良品がつけられることで知られる、
新潟市西区・内野地域。海岸に面した砂丘地で
水はげがよく、すいかづくりに適した土壌だ。
また昼夜の寒暖の差により砂地が熱し、冷やさ
れることで、すいかに甘みがのこる。露地
ものの代表銘柄は「必勝」で、実がしっかりと
入る、昔から親しまれた品種だ。内野地域では
百軒あまりの農家が、それぞれに手をかけ目を
かけ、おいしいすいかづくりに挑んでいる。栽培
期間は五か月から六か月で、冬の間の播種（は
しゅ）や接ぎ木作業から、四月上旬の苗の植え
付け、ミツバチを介した交配・着果を経て、七
月上旬から次々とう出荷する。

栽培管理のポイントが肥料の量と施すタイミ
ング。一番重要なのは生長を促す水やりで、ス
プリンクラーで上空から散水するほか、畝に沿
ったチューブで根元にしっかりと灌水（かんす
い）する。ただ、水も与えればいわけではな
い。過度の水分は空洞化を引き起こしたり果肉
を水っぽくするなど、味や出来を大きく左右し、
作物の病気をも招くからだ。基本は一日一回、
早朝に灌水し、翌日に雨が降るときは控える。
また出荷前の水やりは、糖度が落ちるために行
わない。雨量の多い時期の栽培だけに、「第六
感を働かせるのも農家の仕事」と、ベテランで
も気をゆるめない。

内野地域でつくられた、ひとつ八キロにもな
る上等品を抱えるのは、すいかづくり三年目の
若い担い手。「名人のつくるとすいかに、早く近
づきたい」と、浅黒くたくましい腕で、大玉の
すいかをしっかりと胸に引き寄せた。